

平成 27 年度認定



氏名	ひがしだ よしたか 東田 義孝	生年	昭和 21 年生
住所	兵庫県淡路市		
品目	淡路「一宮のふき」 ・ 昭和 28 年頃に大阪泉南地域から「愛知早生」を導入 ・ 極めて早熟で萌芽が早く、低温伸長性に優れ、草丈は 1.0~1.3m に達する ・ 一度植えると、年間を通じた、きめ細かな栽培管理が必要		
技術	徹底した土作りによる連作障害の回避並びに種株の管理技術 ・ 緑肥作物のすき込みと有機物資材の施用（籾殻たい肥、燻炭） ・ 深耕ロータリーと 3 年ごとのサブソイラーによる深耕 ・ 土壌診断による施肥改善 ・ 冷蔵した種株を 9 月に定植、11 月にビニール被覆して 2 月～5 月まで 2～3 回、収穫し、6 月～7 月に株を掘取り、冷蔵するというサイクル		
活動状況	・ 研究機関で開発された「石灰窒素と太陽熱利用土壌消毒法」や燻炭施用の技術実証、さらにはウイルスフリー株の効果実証に注力 ・ JA ふき部会長（平成 12～14 年）として新技術の導入と普及に貢献 ・ 高齢となり、栽培面積も縮小している。		
相談に 応じられる 分野・内容	・ ふき栽培について、農業者を対象とした収量向上のための土づくり、優良親株の選定・確保、ふきの生理・生態に沿った施肥・温度管理等についての相談や指導、研修会講師 ・ 新規就農者の栽培・経営管理技術習得のための相談・研修受け入れ（短期・通いに限る） ・ 都市生活者、小・中学生等に対するふき栽培体験、収穫体験の受け入れ		
受賞歴	平成 25 年度 第 51 回淡路農林水産祭コンクール野菜立毛の部 金賞		
主な役職	平成 15 年～平成 30 年 JA ふき部会相談役		
HP			